

地震調査研究推進本部政策委員会
第48回調査観測計画部会議事要旨

日時 平成20年12月16日(火) 15時30分～17時30分

場所 文部科学省16F特別会議室
東京都千代田区霞が関3-2-2

議題

- (1) 今後の活断層調査について
- (2) その他

配付資料

- 資料 計48- (1) 調査観測計画部会構成員
資料 計48- (2) 第47回調査観測計画部会議事要旨(案)
資料 計48- (3) 沿岸海域活断層の調査について(案)
資料 計48- (4) 活断層基本図について(事務局案)
資料 計48- (5) 重点的調査観測の対象候補となる
新たな活断層帯の追加について(事務局案)
資料 計48- (6) 短い活断層や地表に現れていない活断層の調査について
(事務局案)
参考 計48- (1) 今後の活断層調査に関する検討スケジュール
参考 計48- (2) 新たな地震調査研究の推進について
-地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進について-
(案)【中間報告からの見え消し版】
参考 計48- (3) 今後の活断層評価に向けて推進すべき調査観測について
参考 計48- (4) 地震に関する基盤的調査観測計画
参考 計48- (5) 今後の重点的調査観測について
(-活断層で発生する地震及び海溝型地震を対象とした重点的調査観測、活断層の今後の基盤的調査観測の進め方-)

出席者

- | | | |
|-----|--------|--------------------------------------|
| 部会長 | 長谷川 昭 | 国立大学法人東北大学名誉教授 |
| 委員 | 石井 紘 | 財団法人地震予知総合研究振興会東濃地震科学研究所
副首席主任研究員 |
| | 入倉孝次郎 | 愛知工業大学客員教授 |
| | 宇平 幸一 | 気象庁地震火山部管理課長 |
| | 大志万 直人 | 国立大学法人京都大学防災研究所教授 |
| | 笠原 稔 | 国立大学法人北海道大学大学院理学研究科教授 |
| | 春日 茂 | 海上保安庁海洋情報部技術・国際課長 |
| | 金沢 敏彦 | 国立大学法人東京大学地震研究所教授 |
| | 齊藤 隆 | 国土地理院測地観測センター長 |
| | 佐藤比呂志 | 国立大学法人東京大学地震研究所教授 |

専門家	堀 貞喜	独立行政法人防災科学技術研究所地震研究部長
	本藏 義守	東京工業大学大学院理工学研究科教授
	翠川 三郎	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
	島崎 邦彦	東京大学地震研究所教授

事務局

田中 正朗	大臣官房審議官（研究開発局）
増子 宏	研究開発局地震・防災研究課長
橋本 徹夫	研究開発局地震・防災研究課地震調査管理官
長谷川裕之	研究開発局地震・防災研究課地震調査研究企画官
梅田 裕介	研究開発局地震・防災研究課課長補佐
滝 明	研究開発局地震・防災研究課防災研究地域連携推進官
溝上 勝也	研究開発局地震・防災研究課地震火山専門官
酒井 慎一	文部科学省学術調査官

議事概要

- ・ 沿岸海域活断層の調査について、事務局から変更点等について説明があり、内容について最終的な審議を行った。
- ・ 重点的調査観測の対象候補となる新たな活断層帯の追加について事務局から説明があり、その基本的考え方や選定基準について審議を行った。
- ・ 短い活断層や地表に現れていない活断層の調査について事務局から説明があり、その基本的考え方や具体的な調査手法等について審議を行った。
- ・ 活断層基本図について事務局から説明があり、その必要性や基本的考え方、概要について審議を行った。関係機関が連携し、地震本部が行った長期評価や強震動評価の結果も盛り込んで作成を進めることが必要である等の意見が出された。